

教育委員会 7 月定例会会議録

1. 日 時 令和元年 7 月 23 日(火)午後 4 時 00 分～
2. 場 所 ウララⅡ (7F) 会議室 1
3. 出席委員 教 育 長 井 坂 隆
職務代理者 説 田 賢 哉
委 員 松 延 芳 子
委 員 今 野 登 喜 子
委 員 鈴 木 敏 之
4. 委員以外の出席者
教 育 部 長 羽 生 元 幸 参 事 菊 地 正 和
教 育 総 務 課 平 井 康 裕 学 務 課 元 川 宏
文化生涯学習課 中 澤 達 也 スポーツ振興課 根 本 卓 也
国体推進課 北 島 康 雄 指 導 課 中 山 弘
図 書 館 入 沢 弘 子 図 書 館 大 貫 三 千 夫
5. 議 題
 - (1) 議 案
議案第 19 号 土浦市青少年問題協議会委員の任命について (文化生涯学習課)
 - (2) 報 告 事 項
第 2 期土浦市教育情報化計画について (指導課)
 - (3) そ の 他
6. 傍聴者 なし
7. 議事内容

教 育 長 定刻でございますので、7 月の定例会を始めます。お手元の資料に従って進めていきます。そのほか、塙賢三展、2019 夏休み子ども講座について文化生涯学習課、そして図書館、ヒューナックアクアパークの利用状況についてスポーツ振興課、いきいき茨城ゆめ国体開会式について、国体推進課ということであります。それではまず、教育長報告事項をお願いします。

教育総務課 ヒューナックアクアパーク水郷の利用状況につきましては、本日資料はご用意しておりません。

—————6 月 27 日以降の行事について報告—————

教 育 長 6 月 28 日に高校改革チーム訪問ということですが、土浦一高附属中学校が令和 3 年に開校することに関するいろいろなことの説明でした。それとは別に給食の問題もあります。地域の意見聴取ということでしたので、土浦の現状をお話ししておき

ました。

29日は新治地区退職校長会、ちょうど課内の旅行の日とぶつかってしまいました。印象的だったのは、7月10日の小野小町文芸賞、山梨県の文学館の三枝昂之館長さん、新治村でスタートした1回目からずっと審査員をされている方の講演ということでした。前の天皇陛下、そして皇后陛下の歌会始の歌について、かなり深い洞察を持った講演が印象的でした。皇后陛下は非常に知的ですばらしい方であるという内容の講演をされました。その後、食事会があったんですが、三枝先生自体がとても有名な方ですので、講演会に来た人ほとんど全員、40人か50人が一緒に食事をしました。

学力向上面談というのは県南教育事務所がそれぞれの市町村でやっていることです。

7月22日、かすみがうらマラソンのチャリティー募金91万ということで、交通安全協会に土浦警察署でお渡ししてきました。

今日は、8月3日、4日のキララ祭り、七夕おどり審査の合同会議でした。毎年2,000人以上が踊りますので、その審査基準などの打ち合わせでした。以上でございます。何かご質問はよろしいでしょうか。

それでは、議案第19号 土浦市青少年問題協議会委員の任命について文化生涯学習課お願いいたします。

文化生涯学習課

議案第19号 土浦市青少年問題協議会委員の任命についてご説明いたします。4ページをお願いいたします。

土浦市青少年問題協議会につきましては、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立並びに適切な実施をするため、市長及び市内にある関係行政機関に対し意見を述べることができるとされています。会長は市長をもって充て、副会長は市長の指名によって定められます。

先月をもって委員の任期が満了となりましたことから、土浦市青少年問題協議会設置条例に基づき、市長が任命するものです。表中の氏名の頭に米印のある方が新たな委員でして、矢口勝雄委員、田子優奈委員、坂井誠委員、男庭和秀委員、大高修嗣委員、鈴木肇夫委員、大越真樹委員の7名です。なお、矢口委員、田子委員の2名は、市議会議員のうちから選出となっております。役職名は記載のとおりです。任期は令和3年6月30日までです。

教 育 長

ありがとうございます。ただいま土浦市青少年問題協議会委員の任命について、新しくなられた方々には米印が付いているということですが、ご意見等ございますか。よろしいですか。

それでは報告事項、「第2期土浦市教育情報化計画」について指導課お願いいたします。

指 導 課

「第2期土浦市教育情報化計画」についてご報告いたします。別冊「第2期土浦市教育情報化計画」をご覧くださいければと思います。

本計画は、教育の情報化につきまして今後の取り組むべき課題についての指針を示し、ICT機器を全ての児童生徒が使い、情報を工夫して活用する姿を目指すことを基本方針としまして、ICTの活用が感覚的な経験だけに終わることなく、

学問の本質である現象の背後にある普遍的な現象についての情報を整理し、理解を深める一助になることを期待して策定いたしました。

第1期の計画につきましては、平成26年度から30年度の5カ年で策定し、ICT機器の整備・運用の面から推進してまいりました。この第1期計画をもとに、本市では他市町村に先駆けて、電子黒板、実物投影機、デジタル教科書を全教室に配備し、これらを活用したわかりやすい授業展開を行うことができました。

また、平成26年度、27年度には、中村小学校と土浦第三中学校を研究指定校としましてICT機器の活用方法についての研究を行いました。当時としては、テレビ会議で授業を行ったりして、現在の遠隔教育の先駆けになったかもしれません。また、平成29年度、30年度には、大岩田小学校を研究指定校としてプログラミング教育の研究を行いました。2020年度から小学校で必修となるプログラミング教育の先駆けとなり、市内学校の参考となることができました。

さらに、平成30年度には、開校した新治学園義務教育学校において、小中一貫教育におけるICT機器活用方法について茨城県内の教職員に広く授業公開を行うことができました。

これらの教育実践をもとに、第2期の計画では、ICT機器を全ての児童生徒が使い、情報を工夫して活用する姿を目指すことを基本方針としまして、児童生徒の活用能力を高め、プログラミング的思考やICTを活用する力として、情報活用能力の育成を目指していきたいと考えております。

第2期の計画は、具体的には七つの大項目において詳細な方針を策定してございます。冊子につきましては、詳細は12ページからご覧いただければと思います。

1番、情報活用能力の育成。2番、教科指導におけるICT活用の実践。続きまして13ページをご覧ください。3番、ICTを活用した小中一貫教育の推進。4番、特別支援教育における情報化の推進。5番、教育の質の改善を目的とした校務情報化。隣のページでございます。大きな6番、ICT活用に関する教員への支援の充実。そして7番、学校ICT環境の計画的整備。以上、七つでございます。それぞれにおいて中項目及び方針を設定しております。また、15ページからは具体的な取り組み内容と成果目標を記載してございます。

さらに、23ページをご覧いただければと思います。23ページからは、2023年度までの具体的なスケジュールを掲載しております。これからは各項目の取り組みについて進捗状況及び成果の検証を行い、取り組み状況項目の追加・変更を行ったり、PDCAサイクルによる進捗管理を行いまして、目標達成を図るなど、毎年点検・評価を実施していきたいと考えております。

ありがとうございました。情報化計画について、説田委員何かありますか。

8ページで県内全校の比較で、電子黒板の整備率とかデジタル教科書の整備率は、圧倒的に土浦は高いというのはありますけれども、ぜひなんらかの形でこういうのを発信していただいたほうがいいかなと思います。土浦のデジタルに対する教育というのはかなり発達して先進的ですよというのを、市の可能であればホームページとか、あるいは数字だけじゃなくて、どんなふうに、授業風景を子供に差し障りがないような形で出してもらったりとか、あるいは教育委員が言う話ではないかもし

教 育 長
説 田 委 員

れないですけれども、ツイッターとかSNSを使って、どんどん土浦ってすごいよというのを発信していただければありがたいなと思いました。

指 導 課 これからもどんどんと土浦の教育について発信していきたいと思います。ありがとうございます。

教 育 長 大岩田小学校で去年やった小学生のロボットのプログラミング、ツイッターで流したらすごい反響でしたね。ロボットを使ってプログラミングは、見ていても面白いが、教育委員会は全然SNSなどで発信していない。学校が勝手にやっている印象が強い。

説 田 委 員 そうです。いいものはどんどん発信していただきたい。

教 育 長 あと、電子黒板が全教室にあるのは全国一なのに、そのことは発信していないものね。今はつくば市のほうがすごいうまいイメージとられているけれども、実際には設置内容的に、桜中なんか3台しかないみたい。土浦市は全クラスでしょう。その辺は教育委員会の発信機能が弱い。教育環境のPRについて少しいろいろなところと連携したほうがいいということですよ。

説 田 委 員 そうです。もったいないので、これだけ内々でこんなにすごいよと言っても、外部に向けて、保護者も子供も先生も含めて発信していただけるとありがたいと思います。

教 育 長 松延委員、保護者の立場からどうですか。

松 延 委 員 物理的な環境がこれほど100%整えられているというのは本当に素晴らしいことだなと思います。パソコンやネットが身近な社会だと言いつつも、まだまだ、学校に来て初めてそういうIT機器に触れるという子はたくさんいると思うんです。なので、このような教育を子どもたちが平等に受けられる環境であるということは本当にありがたいと思います。情報が溢れている社会の中で、情報に振り回されることなく、何が正しい情報で何がアウトな情報なのかを正しく判断できる能力、また、それを正しく活用できるような能力を育てていただけたら、本当にありがたいなと思います。

教 育 長 今野委員、何年か前の学校とは大分違う、変な言い方をするけれども。

今 野 委 員 学校訪問をさせてもらって、本当に私なんかはついていけないなとしみじみ思うんですが、ただ、環境がこれほどきちんと整備をされたことが、各学校での授業を見せてもらったときにそれが活かされているなというふうに感じました。去年の訪問から比べると、今年もまだ1学期だけですけれども、さらにそれが浸透しているというのが学校訪問をしての感想でした。子供たちも活発に授業に参加しているという姿が見えました。

一つ質問というか、私も8ページの、さっと眺めただけで申しわけないんですが、この整備状況のところ、達成率というかパーセンテージで示されている中の下から2段目の統合型校務支援システム整備率というのがゼロというのを見て、あれ、これは何なのかなというふうに思ったんですが、校務の整備というか、職員のそうした疲弊感とかそういうことと直接かかわってくるのがここの部分かなと思って、それがゼロというのが私はわからなかったんですが。

指 導 課 これにつきましては、例えば指導要録の電子化とか、それから出席簿を電子化する

とか、そういったもの全てにおいて一元化した統合支援システムを導入しようという流れで第1期のほうは進めてまいりました。これに関しましては、財政当局等といろいろ交渉しながら進めてきたところでございますが、今回第2期のこの情報化計画を策定するにあたり、今後他市町村と協働しながら、この統合システムにつきまして導入していこうという流れで今現在進めているところでございます。ですので、平成29年度につきましてはまだ0%ではございますけれども、今後あと1年、2年後に導入していく計画で今進めているところでございます。

指導要録に関しましては、今年度から電算化しまして、こちらに関しましては、ある1教員が作成しましたソフトを使わせていただいて、それを市教委として導入しまして、それを土浦市全学校に配信いたしまして、今年度より指導要録に関しましては、手書きではなく、電子化ということで進めることができましたので、この統合型支援システムではございませんが、そういった意味では、先生方の労力を少し軽減することができたのではないかなと感じております。

今野委員 これはとても望まれるというか、恐らく日々の事務的な処理がとても大変だと思うんですね。だからこれが充実していくといいなと思いましたので、よろしくお願いします。

指導課 ありがとうございます。

教育長 ありがとうございます。文科省のデータが29年まであって、30年のデータはまだないということね。

指導課 そうです。

松延委員 統合型校務支援というのは後ろの説明書きからも、教務系、保健系、学籍系、全ての情報を一元化するというのと理解しておりました。今おっしゃってくださったことはその上の校務支援のシステムの部分なのかなというふうに思います。素人考えで統合型というところで情報が全て一元化されたときのデメリット、もし万が一、情報が漏えいしてしまったときに、全てが漏れてしまうのかなというセキュリティーの面でのリスクが高いのかなと思うところがあり、自分の中ではもしかしたらそれで意図的にゼロなのだろうかと推測した部分もあったんですが、そうではなくて、徐々に進めていく、最終的には、働き方改革の支えにもなるということなんでしょうけれども、そういうところを目指しているということなんでしょう。

指導課 平成29年度におきましては、まだ具体的な整理がなされておらなかったもので、0%ということだったんですけれども、松延委員がおっしゃるように、やはりデメリットというのも考えながら導入のほうを進めていかなければならないかなと思いついて、情報漏洩とか、そういったものがないような、しっかりとしたセキュリティー対策のあるシステムを導入していかなければならないと考えておりますので、こちらの導入の計画につきましては、慎重にいろいろ業者とも打ち合わせしながらこれからも導入を進めてまいりたいと考えております。導入が実現した折には、教職員の働き方改革なども含めまして、教職員の労力もかなり軽減されるのではないかなという期待はしております。

教育長 鈴木先生、ありますか。

鈴木委員 一つお聞きしたいのですが、8ページの上のほう、教育用コンピューターの台数で

すけれども、土浦市は全国レベルにはなっていると思いますけれども、これは1台当たりの児童生徒数というのは、本来は1人1台がいいんじゃないかと思えますけれども、目標としてはどの程度なんでしょうか。これからももうちょっと増やしていく予定はあるんでしょうか。

指 導 課 パソコン室に現在 40 台という整備がございますので、パソコン室を使えるのが1クラスということを考えますと、授業の中で使えるのは1人1台という考えでこれからも進めていければなど。

鈴木委員 パソコンの数でやるということですね。わかりました。

教 育 長 これで普通の教室でタブレットを使えば全員になる。なんでパソコン室にこだわっているのですか。

指 導 課 現在パソコン室にあるパソコンなんですけれども、取り外しができるタブレット形式のパソコンをこれからも導入していくことになりますので、例えばパソコン室に子供が移動するのも今まで従来どおりのやり方なんですけれども、パソコン室からタブレットだけを持ってきて、教室で無線LANを使ってネットにつなげるという方法もこれからはとれると思います。

教 育 長 今鈴木委員の言われたのは、要するに、例えば500人の学校であれば500台用意しておいて、それは予算的にも無理だという話。古河市なんかは入れているよね、タブレットね。電子黒板は土浦のほうが強いけれども、タブレットだったら県は古河が一番ですよ。

指 導 課 古河市も生徒1人にタブレットを配布という数まではいってないかなと自分は認識しておりましたので。

教 育 長 土浦の場合は、民間の会社とは全然提携してないんだよね。例えばアップルとか、要するにそういうところと提携してないから、その辺の手法も考えたらいい。とにかくICTというのは、こっちが考えるより先に進んでいる。同じ機械がある、例えばiPhoneは、iPhoneの機能をそのままずっと10年も使うわけじゃない。iPhone自体が進化する。同じようにタブレットも進化するので、進化に追いつかないといけない。教育予算としてそれは非常に難しい話なので、その辺のこともここに書いてない。そういうことですよ。

鈴木委員 そうですね。どういう形で使っているのかというのが見えなかった。

教 育 長 理想は教室で個人的に持っているものを使っていいとか。セキュリティや、情報漏えい問題、プライバシーの問題等、いろいろ入ってきます。

今野委員 タブレットというのが出たので、34ページの「計画の達成状況と課題の整理」というところで、8番の1人1台タブレット端末を想定したところ、これ、廃止になっているので、これもどうしてなのかなと思ったところでした。

指 導 課 1人1台という、やっぱり……。

今野委員 難しい、予算上ですか。

指 導 課 1,000人の生徒に1,000台のタブレットというのは多分なかなか厳しいのかなと思っておりますので、こちらに関しましては、今後10年、20年後に、どのような未来になっているかは想像しながら進めていかなければならないかなと思うんですけれども、もしかすると現在の教科書やノートがなくなり、児童生徒が1人1台の

タブレットを持って学校に来て、それをネットにつなげて先生に宿題を提出するか、あるいは一人一人の持っているタブレットに課題が配信されて、そこでタブレットに書き込んで皆で考えを共有するか、そういう社会がもしかするとやがてやって来るかもしれないので、そういったときにもう一度この計画につきまして見直しを図っていただければと考えております。

教 育 長
学 務 課 長

学務課長、予算厳しいんですね。

はい。統合型校務支援システム等も学校長会のほうで、全校で導入を希望しており、毎年そういう要望を聞く機会がございまして、こちらも努力はしておりますが、なかなかこちらだけで決められるものというわけでもなく、今年度の要望事項でもありますので、引き続き内容等を見直しながら、継続して要望してまいりたいと考えております。

今 野 委 員

それは必ず必要かどうかというか、望ましい形かどうかということも含めてやっぱり検討する必要があるような気がするんですね。あまりにも進歩が激しくてついていけないだけじゃなくて、それが本当に望ましいのかどうかという部分があるので、必要性も含めて検討ということだと思っておりますよ。

教 育 長

そうです。教育は変えちゃいけない部分と、変えなきゃならない部分、不易と流行という言い方をするけれども、変えてはならない部分と、ものすごく速く変えなければならない部分がある。

今、市の財政的に言うと、扶助費がすごい。仮に 500 億の予算があるとする、扶助費が 200 億超えてしまう勢い。だからものすごい勢いで社会福祉的などころでお金がかかる。市民は教育だけで生きているわけじゃないし、文化だけで生きているわけじゃない。とにかく扶助費の上昇がすごいんです。そういう意味で言うと、財政は、教育予算としては廃止という判断にもなる。こっちが要望してもなかなか通らないという現実がある。

教 育 部 長

予算の話になりますけれども、通常の市町村ですと、土木費、道路建設とか、それが予算の中で一番とっているという状況は多い。当然そこで扶助費が大きく伸びてきて、福祉関係が伸びている。

その中で、土浦は教育費というのは土木費を上回るぐらいの予算を実は土浦ではとってまして、ほかの市町村と比べて教育費にかけている予算というのはすごい多い。それはたまたま今回、図書館であるとか、そういったハードの部分もその分占めている部分は多いんですけども、その辺の理解はいただいている中でさらに一歩進むために、なかなかその先は厳しいというような状況にはなっております。

教 育 長
教 育 部 長
教 育 長

高齢化への対応ですよ。

そうですね。

それが行政の今一番の問題で、教育とどっちが大切かということをはかりにかけたらやっぱり扶助費ですよ。

教 育 部 長

最低、どうしてもここは切れない部分というのがございまして、本当に高齢、介護などの部分も含めて、どうしても伸びている。国保の特別会計 150 億、介護保険の特別会計も 100 億という世界になっておりますので、そこは増える一方だという

状況にはなっています。その中で教育費をいかにうちのほうでも確保していくのかというのが求められる部分になりますので、そこは頑張っていきたいなと思っております。

教 育 長 今部長が言ったように、教育費、かなり額的には生徒の母数から言って付いている。つくばとの比較をすると、土浦の児童生徒は1万人ちょっとで、つくばが2万人ぐらいだけけれども、数年前まではつくばとほとんど教育費が同じだった時代がある。今つくばは学校建設とかよくやっているので予算は多くなったんですけども、そういう意味で言うと、土浦は教育費がある。けれども、1人1台までのタブレットということは不可能なのかもしれない。これは全国的な問題だと思います。

教 育 部 長 小さい自治体、人口1万人レベルの所だったら、ぼんと押し出す、うちは少子化対策ここまで力を入れているんだ、ほかの部分差し置いてという所はありますけれども、人口10万人を超えるような自治体で、そこまで揃えられるというのは今の経済状況の中ではなかなか難しいなというふうに思っております。

教 育 長 それと時代が、通信速度が5Gに変わるでしょ。IoTの世界になるから、今まで4Gの時代みたいにヒトとヒトの情報伝達でパソコンを使っているんじゃなくて、情報自体がIoT、要するに機械が機械を操作する時代の中で学校のICT教育をどうするかということになっては、通信速度、かなり増えますよね。今アメリカと中国が闘っている世界の話になってきますけれども、5Gの世界になると中国は、今までもものをつくっても、例えばiPhoneを作っても、iPhone1台600ドルのうちの1ドルぐらいしか中国の収入がなかった。アメリカのほうに50%ぐらい収入が行っちゃう。しかし、それではだめなんで、中国を起点としてものをつくってそういう流れの中でどう中国の国益を得るかということになる。だから通信速度と、機械と機械の関係、それが教育にどう影響するかという予測はなかなか難しいので、そのような状況の中で教育は変えちゃいけない部分と、変えなければならぬ部分がある。この計画も大分進化はしてきましたけれども、もっともっと進化する必要があるのかなということです。

そのほかありますか。この情報化計画については第2期でございますので、これからはバージョンアップしていくということにして、報告事項はこの辺で閉じたいと思います。

4番目、その他についてお願いします。

文化生涯学習課 お手元に塙賢三展のチラシがあるかと思います。「ピエロの画家、ふるさとへ」ということでして、土浦市出身の塙賢三の洋画の作品展を行います。期日は8月10日から9月16日まででして、開催初日の前日8月9日金曜日の午後2時から内覧会を行う予定であります。その内覧会につきまして、委員の皆様にご招待のほうを定例会が終わった後にお手元にお配りしたいと思います。

また、先月ご紹介いたしました土浦狂言なんですけど、こちらのほうの招待券もご用意できましたので、併せてお配りしたいと思います。

教 育 長 ありがとうございます。塙賢三展と、今年は薪能じゃなくて狂言ということ、野村萬斎さんが来るんだっけ。

文化生涯学習課 万蔵さんです。万之丞と万蔵さん。

教 育 長
文化生涯学習課
教 育 長

亀城プラザでやる。
亀城プラザです。
ということで、招待券が用意されているということでございます。
次、お願いします。

図 書 館

お配りしました「夏休み子ども講座」というチラシをご覧ください。毎年、図書館には夏休みに小学生を中心に自由研究を初めとした夏休みの宿題のためにたくさんのお子どもさんたちに来館していただいています。この企画は、子どもたちの夏休みの宿題を図書館として応援しましょうという企画で、旧図書館時代から続けているものでございます。

今年はチラシに書いてあるとおり、四つのテーマにつきまして子どもたちを募集しております。一つ目が8月1日に実施します「目指せ！霞ヶ浦の達人」ということで、子供たちの宿題のテーマで自由研究のテーマで大変多い霞ヶ浦の歴史や生物、水質について、市の環境保全課の職員を講師に招きまして実施しております人気の講座です。

二つ目が左下にいきまして、8月8日の「土浦レンコンを学び隊」ということで、これらも土浦の名産のレンコンを子供たちによく知っていただけるように、市の農林水産課の職員に来てもらって、講座をやります。

また、右側の二つなんですが、8月17日の「読書感想文書き方教室」、また、8月27、28日の「子ども読み聞かせ講座」は、図書館の職員が講師になると、読書感想文のほうは外部講師をお招きするんですが、図書館で毎年実施しております読書感想文コンクールにも市内で3,000人ぐらいの小中学生が毎年参加していただいていますので、今年は読書感想文の書き方教室というのを実施する予定でございまして。全て無料ということで、既に募集を開始しまして、もうすぐ定員いっぱいになってしまうものもあるような人気の状況でございまして。

そのほか、裏面に夏休みイベントカレンダーをつけさせていただいておりますが、夏休み限定の子ども映画会ですとか、「夜のおはなし会」と題しまして、お化けのお話のような読み聞かせ等を企画して多くのお子どもさんに利用していただけるように考えております。

あと、もう1点なんですが、資料がなくて口頭のご報告で申し訳ありません。実は、アルカス土浦の図書館が平成29年11月に開館しまして、8月20日ぐらいをめどに来館者数が累計で100万人を達成する計算になっております。現在、8月20日から8月23日辺りに達成するのではないかと計算しております。7月21日現在で94万人までいっておりますので、あと6万人というところになっております。100万人達成時には、市長のほうにも出席していただいて、100万人目の来館者の方に簡単な記念品とセレモニー等を用意して今準備をしているところです。以上ご報告です。

教 育 長

ありがとうございます。図書館関係であります。100万人達成、簡単な記念品なんですか。

図 書 館

すばらしい……失礼しました。

教 育 長

100万人なので、すばらしいものを送らないと。

図 書 館
教 育 長

土浦認定ブランドのものを今準備しております。

その辺は出してくるんじゃないですか。

次は国体お願いします。

国体推進課

委員の皆様へ、茨城国体総合開会式の観覧のご案内をさせていただきます。ご案内のとおり、茨城国体開会式は9月28日土曜日にひたちなか市の笠松運動公園陸上競技場で開催されます。一般の観覧者については、1万5,651人の観覧申込者がございまして、抽選により5,300名が当選したという状況でございまして、非常に人気の高いイベントとなっております。

このたび、委員の皆様にもぜひ開会式をご覧になっていただければと招待席のご用意をさせていただきました。席の場所とか駐車場の位置などの詳細はまだ示されておりませんので、現時点で行程表を作ることがまだできないんですけれども、会場への入場が12時10分にて締め切りとなっておりますので、土浦を9時か10時ごろ、市の公用車で出発したいと考えております。

会場に入りますと天皇皇后両陛下の行幸啓がある関係で、15時半の式典終了までは会場から出られないというような状況でございまして、土浦に帰ってくるのが午後5時過ぎになると思います。詳細がわかり次第、改めてご案内のほうをさせていただきますが、見応えのあるプログラムが予定されておりますので、ぜひご参加の検討をしていただければと思います。参加の是非について、後ほど国体推進課までご連絡いただけますようよろしくお願いいたします。

教 育 長
国体推進課

炬火の集結式、キララ祭り中にやるということです。

今、毎週のように7月から採火式といまして、炬火の火を起こすイベントを地区の公民館で展開してまいりました。先週の二中地区公民館をもちまして八つの地区の火が全部そろったところでございます。

八つの火を一つに集める集火式を8月3日の17時から市役所前の大屋根の下のステージで国体集火式として実施する予定でございまして、八つの地区の火を市長さんと炬火ランナーの二中の伊沢君に受けてもらうというような内容でございまして、お時間ございましたら、ぜひそちらのほうもご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。

教 育 長
図 書 館 長

ありがとうございます。キララ祭り関係で学祭もあったよね。

広報を今準備しております、広報のほうの仕事にもなるんですが、「学祭TSUCHIURA」という土浦は高校が特別支援学校も入れて10校ございまして、その高校生のパワー、9,000人のパワーを駅前に終結させることによって活気を取り戻すとか、あと、高校生たちに土浦で思い出をつくってもらって、いずれ土浦に戻って住んでもらうというようなことの定住化も目指しまして昨年より始めております。

それを今年は各学校長の推薦で2名ずつの実行委員に出してもらいまして、4月より企画・検討を進めてきたんですが、実施時期につきましては彼らの意見を取り入れまして、今年は8月3日のキララ祭りの日にやりたいという意見が出まして、3日に実施が決まりました。午前中10時から12時までは、キララ広場がメイン会場なんですけど、10時から12時は図書館が共催しますビブリオバトルの高校対抗

というものを1階ロビーでやります。午後は各学校の自慢の部活披露ということで、各学校からの部活の披露がうらら広場のステージでございます。高校生の部活発表とキララ祭りの小学生のパレードが交互にやるような形で今組んでおりまして、かなりにぎやかにやっていただけるんじゃないかと思っております。

あと、各高校生のほうからの意見がありまして、先ほど教育長からもお話がありましたけれども、中高一貫になる土浦一高の生徒さんですとか、やはり中学生、小学生に対しても、説明をしたいということで、各高校の進学に関する相談会とか、紹介もする予定になっておりまして、それはアルカスの1階のほうでやる予定でございます。

あわせて、各学校の美術部の美術作品の展示もアルカスのギャラリーのほうでやる予定になっておりますので、詳細なチラシが明日できる予定になっておりますので、なんらかの形でお渡ししたいと思いますので、ぜひ8月3日ご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

教 育 長

広報つちうらにも記載があったと思います。ですから今年のキララ祭りは3日、4日、イベント、今の話で学祭があつて、小中学校の発表があつて、炬火の採火式があつて、夜は2,000人以上がキララ音頭で踊りますので、朝10時ごろから夜中の9時半までかなり、その次の日もまた今度は山車が出てきますので、3日、4日、土浦がそれぞれの分野で今まで分散していたものが集結したイベントになると思われます。時間があつたら足を運んでいただければと思います。

そのほか、水郷プールは印刷したデータが無いということですが、現状だけ。

スポーツ振興課

昨年は猛暑ということで非常に成績がよかったですけれども、今年はどういうような状況もありまして、去年に比べますと10分の1、去年の今頃ですと1万4,000人くらい入ったんですけれども、昨日現在で1,208人ということで、10分の1ぐらい、今週末には梅雨が明けそうだとことなので、それに期待して8月末まで猛暑が続いてくれればと思います。

教 育 長

たしか8万人入らないとペイしないということでしたよね。

スポーツ振興課

去年は6万8,000人。

教 育 長

去年6万8,000人。今年は砂沼サンビーチが閉じたから、向こうから2万人くらい来てくれて黒字決算になるはずだったんだけど、現時点では1万人も天候の関係で、あとは天気勝負だと思います。

その他、報告事項等ございますか。では、次回。

教育総務課

次回の定例会でございます。8月の定例会でございますが、議会の前月となりますので、第3火曜日の開催日となります。8月20日火曜日4時からお願いしたいと思います。

教 育 長

そのほかございますか。

ないようですので、7月の定例会をこれで閉じます。ありがとうございました。